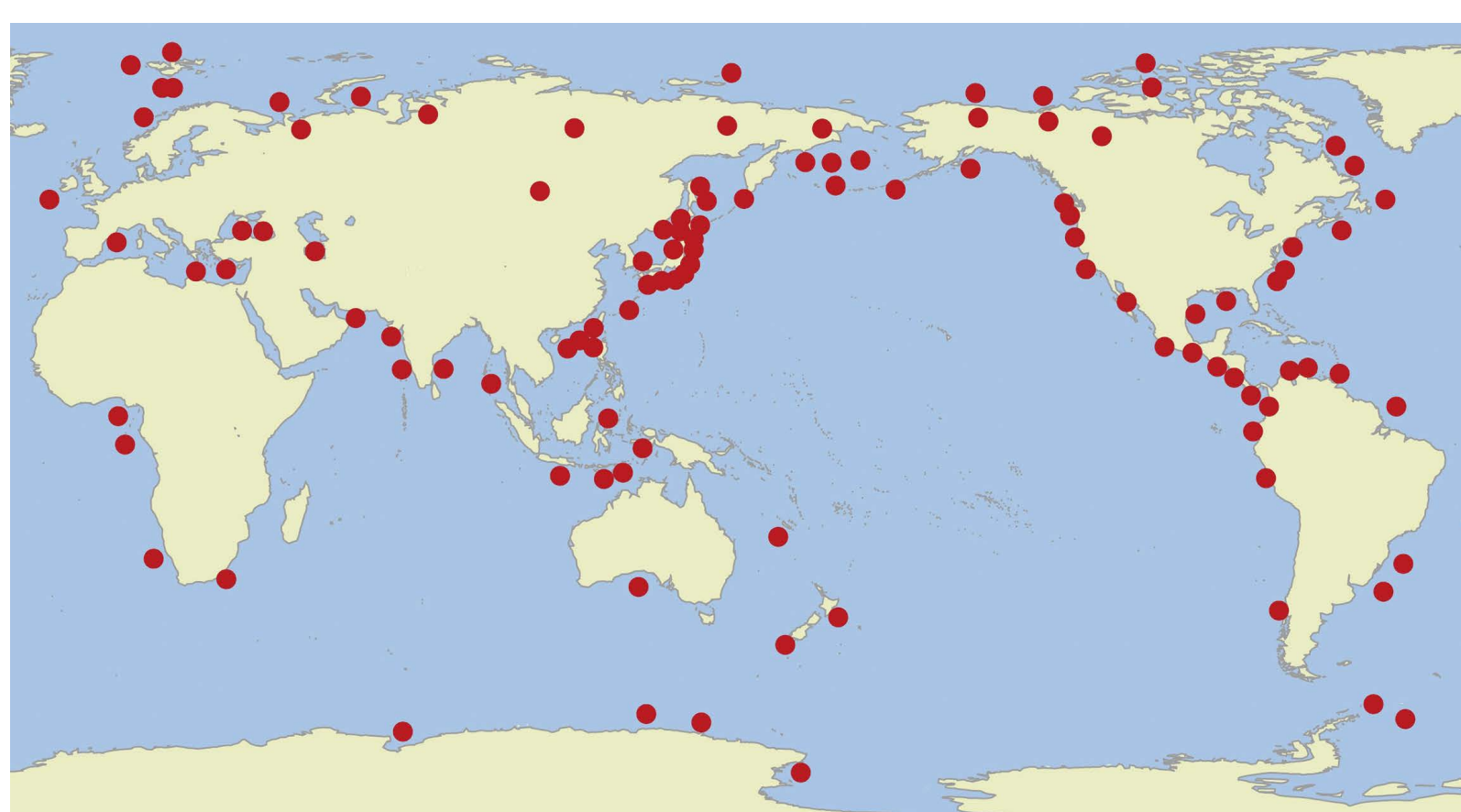


メタンハイドレートのはなし②

メタンハイドレートってどこにあるの？



メタンハイドレートは、①温度が低い、②圧力が高い、という条件でつくられます。このふたつの条件がそろうところは、北極や南極近くのこおった地層の下や深い海の底の下などです。まわりを海にかこまれた日本ではメタンハイドレートの調査がすすんでいます。



ガスハイドレート世界分布図

最新のBSR分布図
(2009年)

BSR面積

約122,000平方キロメートル

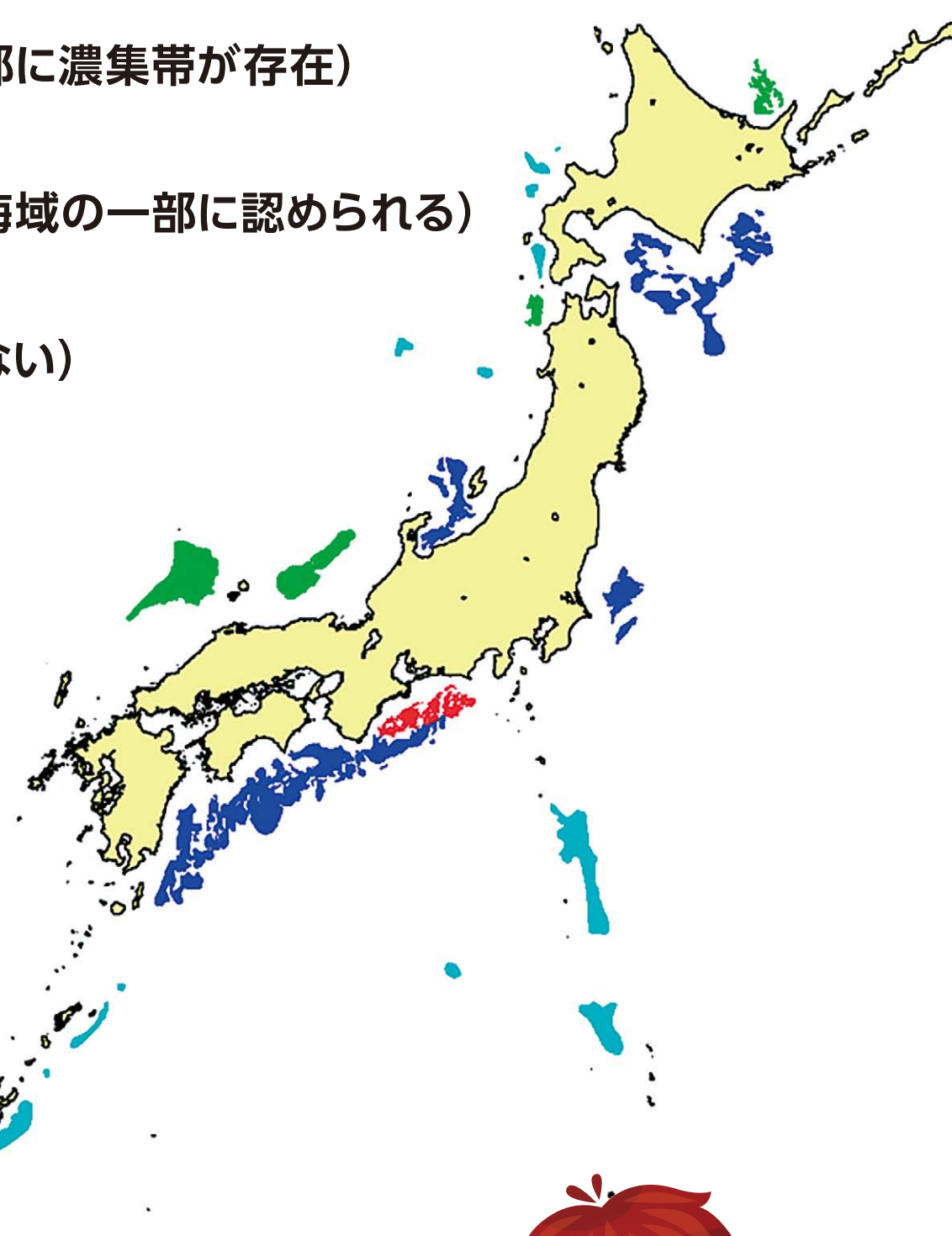
BSR (詳細調査により海域の一部に濃集帯が存在)
約5,000平方キロメートル

BSR (濃集帯を示唆する特徴が海域の一部に認められる)
約61,000平方キロメートル

BSR (濃集帯を示唆する特徴がない)
約20,000平方キロメートル

BSR (調査データが少ない)
約36,000平方キロメートル

にほん
日本の
まわりに
ありそうだね

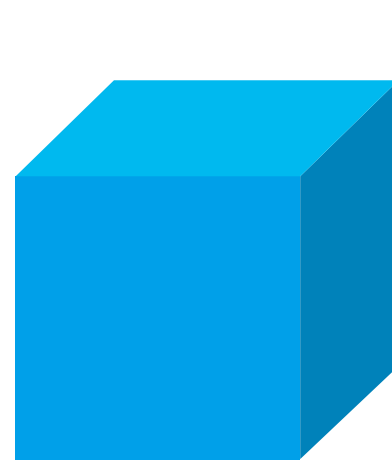


メタンハイドレートのびっくりパワー

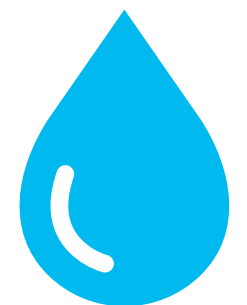


メタンガスはメタンハイドレートの中にギュッと閉じ込められています。でも、その中にはなんと170倍ものメタンガスがふくまれています。

1m³(0.9トン)の
メタンハイドレートの
かたまり



164m³の
メタンガス



0.86トンの水

メタンハイドレートが使えるとなると……
今までほぼ全部を外国にたよっていた天然ガス
(メタンガス)の一部を自分たちでつくりだすことができる。
地球にもやさしくて、まさに一石二鳥なんだよ!!



170倍ってどのくらいかというと、
みんなの好きなおかしで
たとえば、こんな感じ!

日本は、海でメタンハイドレートからガスをとります実験を世界で初めておこないました。

